



羅臼町立春松幼稚園との交流授業

- 1 目的等 高校生と幼稚園児が触れ合い、親しみや憧れを持ちながら、一緒に楽しい時間を過ごす。幼稚園児（3歳～5歳）の発達段階に応じた能力について理解すると共に、幼稚園の機能や先生方の指導等について学ぶ機会とする。
- 2 日時 令和3年11月2日（火）2～3校時
- 3 場所 羅臼町立春松幼稚園 遊戯室
- 4 生徒 生活と福祉（3年選択・2単位）を選択している23名
- 5 担当者 丸子恵未（教諭、1年担任、進路指導部、創作料理部顧問）
- 6 連携 羅臼町教育委員会社会教育課、羅臼町立春松幼稚園

	ちゅうりっぷ組(3歳児)	ひまわり組(4歳児)	すみれ組(5歳児)	高校生
10:00	中庭にて見学		交流はじまり ・はじめの挨拶 ・「ららら体操」	交流はじまり ・挨拶 ・一緒に体操
	紅白玉入れ 中庭にて見学	中庭にて見学 ドーナツゲーム	見学	高校生出し物 ・「よさこい」 ・「手話による歌」 ・雑巾のプレゼント ・2チームに分かれてゲームに参加
	集合写真（3→4→5歳児）撮影が終わったら教室へ			
	室内あそび（教室）		・おわりの挨拶 ・玄関見送り	・挨拶 ・バス乗車、移動
11:10				



《幼児の様子や関わりで、印象に残ったこと》

- 皆が緊張していると園児に伝わってしまうので、自分から沢山話しかけて同じ目線で関わることで打ちとけて楽しく交流できた。とにかくかわいかったのが印象的。
- 元気がよくてテンションについていくのが大変だった。
- もじもじしている女の子がいて、最初は話しかけても固まっていて反応がなかったけど、「〇〇する？」とか「〇〇やってみよう！」とか言ってみたら打ちとけてくれて、おままごとをやった。
- 園児の体力は無限大なんだと思った。
- 言葉をはっきり話せる子が多い印象でした。
- 途中でブロックの取り合いで女の子と男の子がケンカをしていて、ああいう場面でも保育士の人は、最初にどっちが使っていたのかなど幼児に考えさせてから行動するなど、成長させることを考えているのだと印象に残りました。
- 小さい身体の割に、結構動くんだと思った。
- おぼえた言葉はすぐ使いたくなるんだと思った。
- おんぶした。子どもが予想より軽かったからびっくりした。

《交流会で、感じたことや学んだこと》

- 子ども達の考えていることや、どんなことが楽しいのかが、なんとなくわかった気がする。
- みんな緊張してまちがえたりしたところもあったけど、幼稚園児のみんながしっかり見てくれて踊っていて楽しかったです。
- 上手く接することができるか不安だったけど、幼児の方から積極的に話しかけてきたので楽しく過ごせました。
- 遊んだものを片付けるときに、協力してやっていた、しっかりしているなど思った。
- 私は幼稚園児はもっと言うことを聞かない子が多いと思っていましたが、そんなことなく逆によい子ばかりでした。また、私が幼稚園児だったときにやった遊びや先生方に会ってとても懐かしく感じ、良い1日でした。
- 楽しかった。子どもがあんまり得意じゃないけど、今回すごく可愛かったのもっと積極的に関わりたいと思った。
- 1人对2～3人相手にしたので疲れたが、それと同じくらい楽しかった。

